

JISA 経営セミナー(第 6 回)

「世界最速ソフトウェア開発のビジネスに迫る

～2週間でプロトタイプ、2か月で MVP を開発～」開催

平成 29 年 7 月 12 日、JJK 会館において、JISA 経営セミナー(第 6 回)「世界最速ソフトウェア開発のビジネスに迫る」が開催された。出席者は 82 名。講師は、ELEKS 社より、Sev (セブ) Onyshkevych (最高顧客責任者) と Serhiy (セルヒー) Kharytonov (最高技術責任者) を招いた。



冒頭、横塚会長は、「ELEKS 社は非常に短期間でビジネスモデルを創り、そのために必要なシステムを開発している。我々もそのノウハウを取り込んでいきたい」と挨拶した。また、三石 剛史 (Ni サイバーセキュリティ社 代表取締役社長) より同社の特長について説明があった。短納期でのシステム開発実現するために、People (ピープル)、Process (プロセス)、Platform (プラットフォーム) の 3 つの P に強みを持っているとのこと。

その後、セブ氏からはプロセスについて、セルヒー氏からはプラットフォームについて特に説明があった。プロセスでは、製品開発を「イノベーション」「コンセプト実証」「製品化」「保守」の 4 つの段階に分け、それぞれに専門のチームを配置している。「コンセプト実証」では、デザイン思考をベースに、アイデアをプロトタイプ化する小規模の開発を繰り返すとのこと。



セブ氏



セルヒー氏

模の開発を繰り返すとのこと。必要最低限の機能を備えた製品を繰り返し市場に出すことで、本当の市場のニーズを把握する。プラットフォームでは、短納期での開発を実現する為に、データ解析やセキュリティ、モバイル、監査ログなど、さまざまな技術プラットフォームを自前で持つことより、必要な開発に即座に取り組めることと説明があった。

最後に、同社の開発事例の紹介があり、グローバルでの実績が共有された。

(大原)